

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会

平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日）

事業報告

1. はじめに

京都ユースネットワーク（略称 KYN）は、京都のローバースカウトと、その同年代の指導者らによる団を超えた連携集団です。一昨年、このメンバーによる第1回ガーナ派遣が実施され、現地の状況を調査してきました。そして、自分たちに何ができるかを検討し、昨年の第2回派遣ではアクションプランを実行、アイデアと行動力で現地の「顧みられない風土病」であるブルーリ潰瘍の治療に一石を投じました。その実績を WHO（世界保健機関）が注目し、代表のスカウトがジュネーブの本部に招かれ報告してきました。

このような未知への挑戦に成果をあげることができたのは、「前に踏み出すこと」「考え抜く力」「諦めない心」「チームワーク」が備わっていたからで、まさに少年期からスカウト活動を続けてきた賜物です。このような青年の熱意をくみ取って導く指導者のネットワークと社会的な支援をいただきながら、世界的な青少年教育運動として信頼を築いてきたボーイスカウトならではの取り組みでした。

ビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャーと、後輩は先輩スカウトに憧れ、目標としています。ローバースカウトが京都のスカウトを牽引する、という明るい兆しを大事に膨らませて、社会の課題を見つけて解決のために行動できる青年を輩出していく所存です。

一方、加盟員の登録数は依然減り続けていますが、新たに加入したスカウトは昨年131名ありました。平成31年4月1日現在の登録数は、6地区57こ団223こ隊、2,350人（スカウト1,209、指導者・団役員等1,141）で、1こ団あたりのスカウト数は平均で21.2人となります。

日本連盟の団診断によりますと、京都連盟の各団は次のとおり B, C, D ランクとなり、団の規模は縮小傾向にあります。

		平成30年度	→	平成31年度
S ランク	スカウト100人以上:	0こ団	→	0こ団
A ランク	65～99人:	0こ団	→	0こ団
B ランク	40～64人:	12こ団	→	7こ団
C ランク	20～39人:	26こ団	→	24こ団
D ランク	19人以下:	20こ団	→	26こ団（大学ローバー4こ団含む）

本年度は4年に1度の全国キャンプ大会である「第17回日本スカウトジャンボリー」が石川県珠洲市にて開催され、京都連盟から316名が参加しました。

また当該会計年度は、維持会費収入が2,560千円と前年度比+90千円となりました。

2. 事業報告の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体として、京都連盟を助成対象とした。

(イ) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、スカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(ウ) 事業実績

- 一 事業費として、総額 1,300 千円を支出した。

京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費、ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。

- 一 第 17 回日本スカウトジャンボリーに、1,000 千円を支出した。

期 間：平成 30 年 8 月 4 日から 8 月 10 日

会 場：石川県珠洲市 りふれっしゅ村鉢ヶ崎

参加者：スカウト 7 区隊 243 名＋スタッフ 37 名＋派遣団本部 5 名

(エ)

(参考) ボーイスカウト講習会の実施状況

名称	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
期日	4 月 15 日	6 月 17 日	中止	11 月 11 日	1 月 20 日	3 月 3 日
会場	京都市 西京区役所	宇治市 中央公民館	—	福知山市立 大正文化センター	豊園自治 連合会館	上一乗寺 集会場
参加者	10 名	26 名	—	16 名	11 名	21 名

(参考) ウッドバッジ研修所等の実施状況

名称	WB 研修所スカウトコース 京都第 2 期	WB 研修所課程別研修 CS 課程 京都第 2 回	WB 研修所課程別研修 BS 課程 京都第 1 回
期間	5 月 3 日-6 日	5 月 27 日	10 月 28 日
会場	広河原野営場	京都連盟会議室	京都連盟会議室
参加者	22 名	12 名	8 名

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体

日本ボーイスカウト京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 体験活動に参加した対象者、使用月日、使用人数等

使用者	使用月日	使用人数	備考
1. 山開き	4月14日-15日	14人	サポート委員会
2. WB研サウトコース開設	5月2日-6日	32人	サポート委員会、所員 トレーニングチーム
3. 京都西ライオンズクラブ	6月2日	25人	西ライオンズクラブ会員
4. 野営場整備（草刈り）	7月14日-15日	11人	イベント委員会
5. 冬ごもり整備	12月15日-16日	17人	イベント委員会
6. 京都第68団BS,CS隊	2月23日-24日	20人	キャンプ、デイキャンプ
合 計	15日	119人	

(オ) 事業実績

広河原野営場建物の減価償却費 80,730 円・固定資産税 4,300 円が主な費用実績である。

鉄橋付け替えに補修費として 468,396 円を助成した。

(カ) 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得又は賃借について

利用状況がはかばかしくなく、当面見合わせる。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業：「連携」

(ア) 趣旨

ボーイスカウトの指導者が、テーマを設けて研修する催しに青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、オープンに一般の参加者も迎え、セミナー等を実施するものである。

(イ) 事業実績

平成 30 年 12 月 2 日に「京都連盟スカウト活動報告会及び指導者全体研究集会」が京都テルサ大会議室で開催され、110 名の参加があった。

- － ベンチャースカウトプロジェクト発表会及びガーナ派遣報告』
 - ・ガーナ派遣報告
 - ・RS の集い
 - ・VS プロジェクト発表会
- － 京都連盟指導者全体研究集会
 - ・スカウトスキル研修
 - ・特別講演 「スカウティングにおける国際派遣」
講師：福西 和幸 氏 （九州国際大学 国際センター長）

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業：「イベント」

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

- － 第 2 回ボーイスカウト京都連盟ガーナ派遣
平成 30 年 9 月 14 日－23 日 指導者名、スカウト名
- － 第 3 回ビクトリアンアグーナリー大会（オーストラリア）
平成 30 年 9 月 20 日－26 日 指導者 1 名
- － 韓国・京畿南部連盟の受け入れ
平成 31 年 1 月 4 日－8 日 スカウト 6 名（ホームステイ）、指導者 8 名を受け入れた。

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

一般青少年を対象にした事業は、スカウト仲間を増やすためにも、各地区・各団で工夫したプログラムが実施され、この一般向けの案内のためにホームページを活用した。

- － 全国防災キャラバン（10月28日）
イオンモール京都桂川（1 F 竹の広場）にて実施
- － 全国都道府県対抗女子駅伝競走大会（1 月 13 日）680 名
- － 全国車いす駅伝競走大会（3 月 10 日）549 名
走路沿道の自主整理員としてスカウトと指導者が奉仕した。

(ウ) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動には、各団が春と秋に奉仕した。

また、京都市「まち美化運動」には、例年「世界の京都・まち美化市民総行動」（11 月 4 日）に 11 名のスカウトと指導者が参加した。

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業：「広報」

(ア) ホームページの充実により、組織内外のコミュニケーションを促進する。

- ① 一般の子どもや保護者が参加可能な団主催「スカウト体験と説明会」や地区主催「ビーバーランド」「カブラリー」等、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等について、ホームページにて告知し、地域の青少年の参加を促した。
- ② ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行った。
- ③ ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼した。
- ④ OBの復帰受け皿としての「サポーター制度」を確立し、ホームページを通じて公募した。

(イ) 「ポスター」5,000枚PR作戦

加盟員1人当たり2枚を、地区を通じて団に配布。「なろう。一人前に。」認知度アップと加盟員募集に活用した。

(ウ) 事業費実績

主な事業費は、ホームページ運営改革費（389千円）と、ポスター印刷費（432千円）を支出した。

(6)財源の確保（維持(賛助)会費の入金状況）

維持(賛助)会費の入金内訳は以下の通りです。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
維持会費収入額	2,080千円	2,450千円	2,492千円	2,470千円	2,560千円

当該会計年度は、維持(賛助)会費収入が2,560千円と前年度比+90千円となりました。

引き続き、役員の方には、21世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していただけるように努力して頂き、維持会員数の拡大に一層のご協力をお願いする次第であります。

以上